

別紙様式1

令和5年度学校経営計画

学校名 東広島市立志和小中学校
 学校長名 脇坂 治海 印

I 学校の状況

学級数	小9学級・中4学級	児童・生徒数	314名	教職員数	27名
メールアドレス		shiwa-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp (小中学校)			
ホームページアドレス		www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/shiwa_chu/ (小中学校)			

II 教育目標

「夢と志を持ち 果敢に挑戦し 自己実現する児童生徒の育成」

III 経営理念 (ミッション・ビジョン)

【ミッション】「地域とともに未来を創る ー学校での学びを地域社会に結びつけるー」
 【ビジョン】○課題に主体的に向き合い、解決に向けた行動をとることのできる人材の育成。
 ○変化の大きい世界の中で状況を把握し、目標を持ち、他と協力して課題解決に取り組むことのできる人材の育成。

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	☆学びに向かう力を整え、育てたい資質能力“推論する力”の育成を図る。 <u>新規</u> 地域伝統文化再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育・接続教育を推進し、児童生徒が安心して学習できる教育環境を整える。 ・eSTEAM教育を推進し、児童生徒の「推論する力」を各教科で育成する。 ・ICT活用の推進を図り、GIGAスクールを加速させ、児童生徒の学習意欲と興味関心を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科、英語、音楽、保健体育、総合的な学習での準教科担任制の実施。 ・総合的な学習を中心に発達段階に応じて、系統的かつ計画的にeSTEAM教育を推進していく。 ・児童生徒が学習課題を発見し解決していくために、タブレット等のICT機器を活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査やNRT、習熟度テストの結果分析 ・授業満足度調査 ・保護者満足度調査 ・児童生徒生活質問紙 ・学校評価等の分析 ・研究授業の考察等
豊かな心・健やかな体	2	☆自立・自律し、自他のことを大切にし、自己の健康と体力について理解し、高めていこうとする児童生徒を育成する。 <u>新規</u> 部活動の地域展開	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の自己有用感を高め、アイデンティティの確立を図る。 ・食や健康について考えるとともに、自己の体力の向上に主体的に取り組んでいく児童生徒を育成する。 ・安全で安心できる教育環境を整える。 <p>*おおぎやまルーム開設 (不登校児童生徒対策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会や生徒会活動をはじめ、部活動、クラブ活動、委員会活動等を通じて、児童生徒の主体性と自発性を育てていく。 ・委員会活動を中心として、児童生徒自らが目標を立てて健やかな体づくりに取り組んでいく。 ・SCや心のサポーターと連携したSSRを運営していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒生活質問紙 ・新体力テスト等の結果分析 ・児童生徒いじめアンケート ・不登校児童生徒数 ・学校評価等の分析
信頼される学校	3	☆地域とともにある学校として、信頼される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの体制をもとに、地域連携を推進する。 ・学校HPや学校だより等による情報発信を定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティルームを拠点とした地域人材との連携や活動を実施する。 ・学校の取組や児童生徒の躍動的・活動的な様子を広く発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校来校者アンケート ・学校評価の分析
働き方改革	4	☆業務改善を積極的に行い、超過勤務時間数を月平均4.5時間以内にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を図り、教職員の健康維持、増進を図っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校としての校務運営組織の見直しと精選を図っていく。 ・地域の協力的体制ネットワークの構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退校記録 ・学校衛生委員会による傾向分析

V 学校評価

(1) 学校評価システムの組織（構成者を含む）

[自己評価] 学校評価委員会（構成員：校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、研究主任）

・学校運営協議会において学校関係者評価を行う。

(2) 自己評価及び学校関係者評価の実施計画（公表方法を含む）

・教職員、保護者、生徒を対象としたアンケート調査を実施し、その結果・分析等を学校通信等で公表するとともに、学校運営協議会でその客観性を問う。

・育てたい資質能力“推論する力”の育成を図る(ビジョン)

☆「総合的な学習」をはじめ、各教科で“推論する力”の育成を図っていく。

・児童生徒9年間の学びと育ちを支援(ビジョン)

① 「小中一貫・接続教育」の推進（準教科担任制の充実）

② 地域課題にアプローチしていく「eSTEAM教育」による系統的な学びの実現

③ 「地域と連携した教育（コミュニティスクール）」による部活動の地域展開

④ 「ICT活用の推進（GIGAスクールのさらなる推進）」

・児童生徒の主体性を育てる部活動，児童会生徒会活動の推進（ビジョン）